

明治安田インフォメーション 2019 vol.2

2019年度上半期業績のお知らせ



明治安田生命は 「人に一番やさしい生命保険会社」を めざしています。

当社は創業以来、相互扶助の精神のもと、わが国生命保険事業のパイオニアとして、お客さま、そして地域社会のみなさまとともに歩んできました。社会・環境が大きく変化するなか、社会保障制度を補完する生命保険会社として、これからも確かな安心をお届けしてまいります。

おかげさまで2019年度上半期は、引き続き高い収益性と健全性を確保することができました。今後とも、MYライフプランアドバイザーを中心に「対面のアフターフォロー」を通じて、みなさまに「人に一番やさしい生命保険会社」を実感いただけるよう努めてまいります。

今年4月から、お客さま・地域社会・働く仲間(当社従業員)の健康増進を応援する「みんなの健活プロジェクト」を本格展開しております。健康は大切ですが、ひとりで取り組むのは難しいものです。当社は、みなさまが継続して取り組めるメニューを「対面のアフターフォロー」を通じてご提供いたします。

また、「対面のアフターフォロー」の高度化に向け、タブレット型次世代営業端末や、3万人規模での配付が大手生保初となる社用スマートフォン等を新たに導入いたしました。これにより、給付金請求手続きが簡単になり、健康診断の結果など各種書類の紙での提出が不要になるなど、お手続きがさらに便利になります。

今後とも、ご安心いただき、末永くご愛顧を賜りますよう、よろしくお願いたします。

社長 **根岸 秋男**



私たちは、「一番古くて、21世紀生まれ」の生命保険会社です。

歴史と伝統

挑戦と創造

当社は、明治初期に創業した明治生命と安田生命が2004年1月に合併して誕生した、日本で最も「歴史と伝統」があり、21世紀生まれの「若々しい」生命保険会社です。私たちはこれからも、果敢に挑戦し、お客さま・地域社会に新しい価値を創造し続けてまいります。

お客さま数	拠点数	従業員数
2019年9月末	2019年10月1日	2019年9月末
個人営業 ^{※1} 703万人	支社・マーケット開発部 96	職員 10,697人
法人営業 ^{※2} 497万人	法人部 21	営業職員 (MYライフプランアドバイザー) 32,853人
	営業部・営業所等 1,021	

※1 アドバイザー等チャネルにおける、生保契約者(すえ置・年金受取中を含む)+生保被保険者+損保契約者(重複を除く)
※2 法人営業チャネルにおける、(新・)団体定期保険の被保険者数(当社単独・幹事契約の本人・配偶者)

INDEX

収益性・成長性

低金利環境が継続するなか、引き続き高い収益性を確保しています。

業績はスマートフォン・PCにて動画でもご確認いただけます

詳しくは
P.3~P.4

健全性

財務基盤の強化等を通じて、高い健全性を維持しています。



詳しくは
P.5~P.6

アフターフォロー

お客さまに確かな安心をお届けするために。明治安田生命は「対面のアフターフォロー」で保険を変えます。

詳しくは
P.7~P.8

みんなの健活プロジェクト

健康増進の取り組み方は「人それぞれ」、取り組みは「一人では難しい」、取り組みを「続けることは難しい」。だから私たちは、さまざまな取り組みでみなさまの健活を応援します。

詳しくは
P.9~P.10

Jリーグ・地域社会貢献

「明治安田生命Jリーグ」をはじめ、さまざまな地域社会の活性化に貢献していきます。

詳しくは
P.11~P.12

収益性・成長性

明治安田生命ビルと明治生命館(東京都 千代田区 丸の内)

低金利環境が継続するなか、引き続き高い収益性を確保しています。

● グループ業績

グループ基礎利益
3,123億円

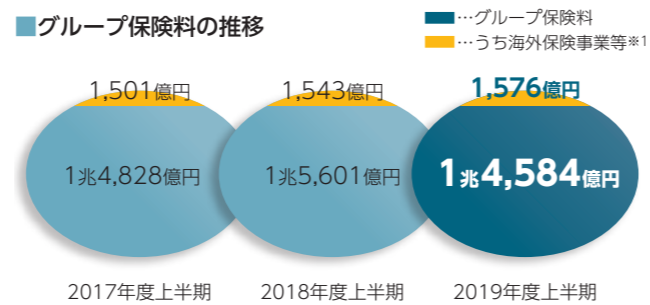
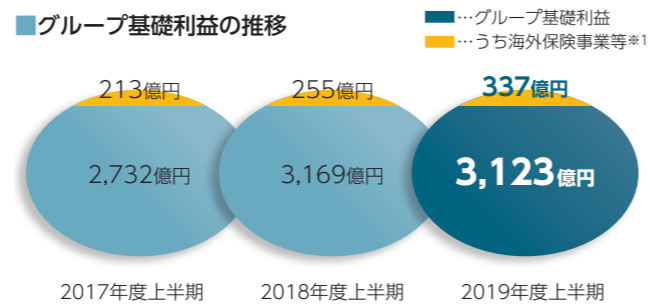
グループ基礎利益とは、明治安田生命の基礎利益に連結される子会社および子法人等ならびに持分法適用の関連法人等のキャピタル損益等を控除した税引前利益のうち明治安田生命の持分相当額を合算し、明治安田生命グループ内の内部取引の一部を相殺した数値です。2019年度上半期も引き続き高い収益性を確保しています。^{※2}

グループ保険料
1兆4,584億円

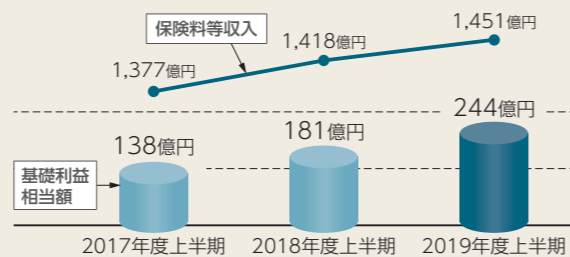
グループ保険料とは、連結損益計算書上の保険料等収入です。

明治安田生命グループの「スタンコープ社」はグループ業績の安定成長に寄与しています

2016年3月に完全子会社化した米国スタンコープ社の業績は、強固な経営基盤のもと、主力の団体保険事業を中心に堅調に推移し、グループ業績の安定成長に寄与しています。今後もグループの事業・収益基盤のさらなる強化を図り、お客さまの利益向上をめざしていきます。



■ 基礎利益相当額・保険料等収入の推移^{※2}



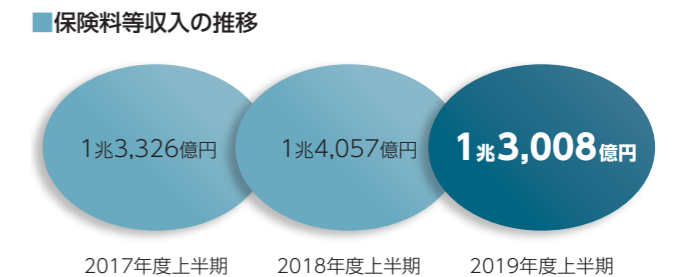
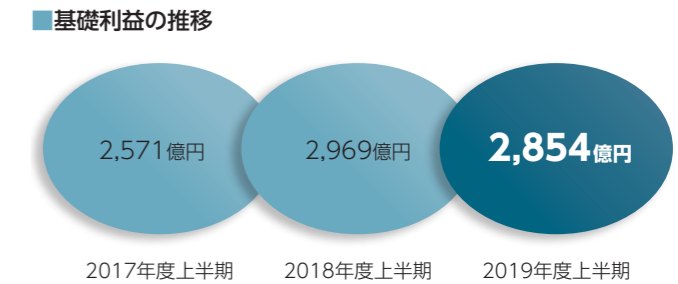
● 明治安田生命単体業績

基礎利益
2,854億円

基礎利益とは、保険料等収入や保険金・事業費支払等の保険関係の収支と、利息及び配当金等収入を中心とした運用関係の収支からなる、生命保険会社の基礎的な期間損益の状況を表わす指標です。2019年度上半期も引き続き高い収益性を確保しています。

保険料等収入
1兆3,008億円

保険料等収入とは、ご契約者から実際にお払い込みいただいた収入(保険料)および再保険収入による収益です。



※1 国内生命保険事業以外の合算

※2 スタンコープ社について、財務会計の管理方法変更に伴い、2019年度より基礎利益相当額を買収会計適用後の会計ベースでの算出に変更。なお、変更後基準で算出した場合の2018年度上半期実績は193億円(グループ基礎利益合計は3,181億円)

業績はスマートフォン・PCにて動画でもご確認ください



[QRコード]



明治生命館(重要文化財)

健全性

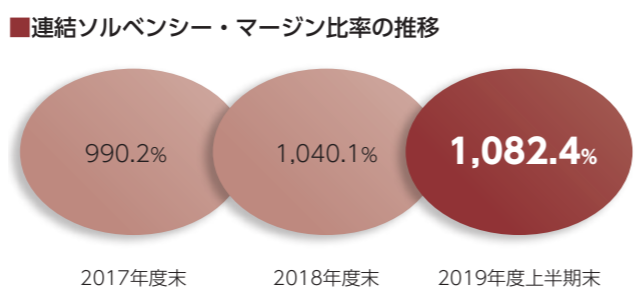
財務基盤の強化等を通じて、高い健全性を維持しています。

業績はスマートフォン・PCにて動画でもご確認いただけます



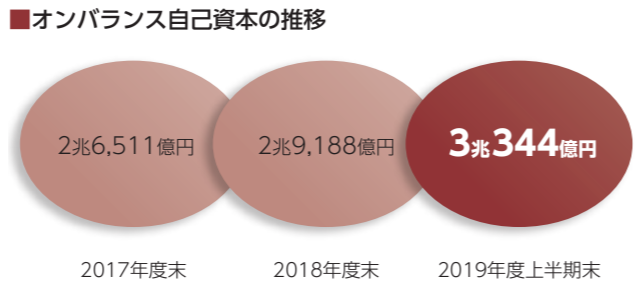
連結ソルベンシー・マージン比率 1,082.4%

株価の暴落など、通常の予測を超えて発生するリスクに対応できる「支払余力」を有しているかを判断するための行政監督上の指標の一つです。この数値が200%を下回った場合は、監督当局による業務改善命令等の対象となります。連結ソルベンシー・マージン比率は1,082.4%となり、引き続き高い水準を維持しています。



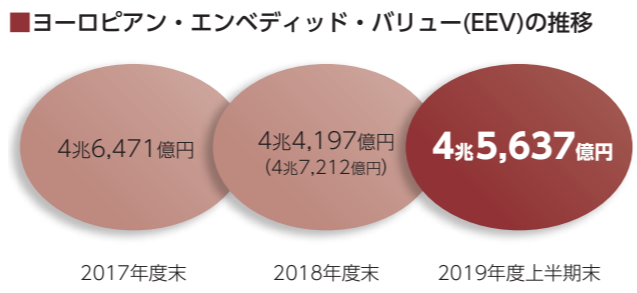
オンバランス自己資本 (明治安田生命単体) 3兆344億円

当社では、所定の内部留保と外部調達資本の合計をオンバランス自己資本と位置付けています。さまざまなリスクに備え自己資本の着実な積み増しに努めています。



ヨーロピアン・エンベディッド・バリュー(EEV) 4兆5,637億円

企業価値を表わすヨーロピアン・エンベディッド・バリュー(EEV)は、グループベースで4兆5,637億円となりました。



※ 2019年度上半期末EEVの算出から保険監督者国際機構(AIS)が検討を進める国際資本基準(ICS)をふまえた終局金利を用いる手法に変更しています(2018年度末EEVについても2019年度上半期末と同様の手法により再評価した値を括弧内に表示)

格付(明治安田生命単体)

会社の収益力・財務状況などを、さまざまな角度から総合的に評価し、わかりやすい記号で表わしたものです。引き続き格付会社から高い評価を受けています。
(2019年11月1日現在)

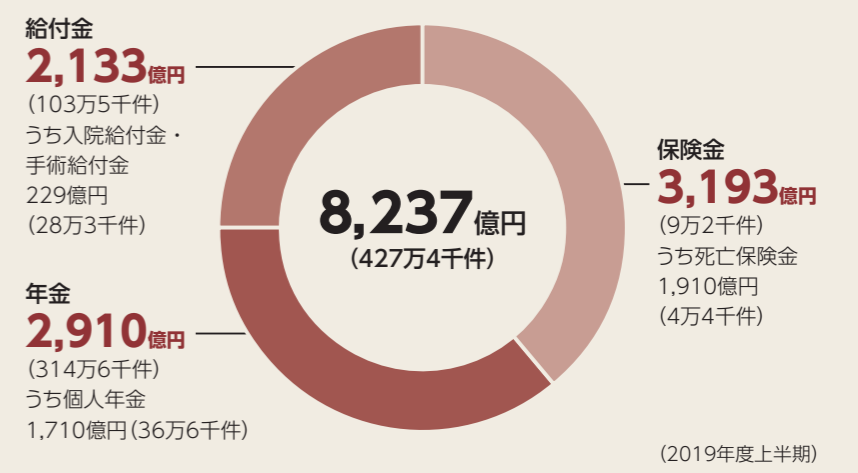
*「保険金支払能力」「保険金支払能力格付」は、保険会社の保険債務が約定どりに履行される確実性についての意見です。「保険財務格付」は、保険契約に基づく優先債務を遅滞なく履行する保険会社の能力に関する意見です。「保険財務力格付け」は、保険契約の諸条件に従って支払いを行なう能力に関して保険会社の財務内容を評価した意見です。*右記の格付は、当社が依頼して取得したものです。*記載の格付会社は、金融庁の登録を受けた信用格付業者です。*格付は、個別の保険契約の加入・解約・継続を推奨するものではありません。*格付は、上記時点での格付会社の意見であり、将来的に変更・保留・撤回されることがあります。

格付投資情報センター(R&I) 保険金支払能力	AA-
日本格付研究所(JCR) 保険金支払能力格付	AA-
ムーディーズ(Moody's) 保険財務格付	A1
S&P 保険財務力格付け	A+

お役に立った保険金・年金・給付金

1日あたり 約45億円

2019年度上半期にお支払いした保険金・年金・給付金の合計額は、8,237億円、1日あたりのお支払いは約45億円でした。これからも確実・迅速なお支払いに努め、お客さまのお役に立てるように確かな安心をお届けしていきます。



アフターフォロー

テレビCM出演中の松坂桃李さん、宮藤官九郎さん

お客さまに確かな安心をお届けするために。 明治安田生命は「対面のアフターフォロー」で 保険を変えます。

1

お手続きサポート

保険金・給付金のご請求をはじめ、ご契約にかかわる各種お手続きのサポートに加え、ご高齢のお客さまなどにはさらなるサポートをいたします。

①MY長寿ご契約点検制度

喜寿や卒寿など、長寿祝賀の節目を迎えられるお客さまに、保険金等のご請求やご連絡先・受取人変更等の有無を当社から能動的に確認し、その後のお手続きまでサポートする制度です。

②MY安心ファミリー登録制度

あらかじめご契約者以外の連絡先（第二連絡先）を登録いただき、大規模災害等ご契約者との連絡が困難な場合などに、第二連絡先にご契約者の最新の連絡先を確認させていただく制度です。

③「MYアシスト^{プラス}」制度

視力・聴力の低下やご病気などにより書類の記入が困難であるなど、ご自身でのお手続きが難しいお客さまのお手続きをサポートする制度です。

2

定期点検

毎年ご契約内容を説明し、「最適・最新」な保障となっているか、ご請求にモレはないか、などを確認します。

お客さまを取り巻く環境の変化により、お客さまの保険に対するニーズも変わっていきます。ご加入の保険が、ご自身の“今”に「最適・最新」な保障となっているかをご確認いただけるよう、「ベストスタイル コンセプトパンフレット」などでご案内しています。

3

健活サポート

お客さまにあわせたさまざまなメニューを提供し、健康増進に向けた取組みをサポートします。

病気の予防・早期発見などに役立つ「みんなの健活サービス」のご提供



定期的な“けんしん”（健診・検診）機会のご提供や、健康増進につながるイベントなどのご案内

アフターフォローがさらに充実！

ご契約時やご加入後のお手続きがもっと簡単・便利になりました！

対面サービスの強化！タブレット型次世代営業端末「マイスタープラス」を導入

定期点検の電子化

情報提供の充実とともに、お手続き漏れを防ぎ、スムーズなお手続きができるようになりました

給付金請求の電子化

電子画面で簡単にわかりやすくお手続きができ、お支払いまでの時間も短縮されました

一括手続きの拡大

一回の電子サインでご請求いただけるお手続きの範囲が拡大し、より簡単・便利になりました



大手生保初！全営業職員に社用スマートフォン「MYフォン」・「LINE WORKS」を導入

LINE WORKSの導入

コミュニケーションツールの多様化に対応し、お客さまの利便性が向上しました

高性能カメラの活用

健康診断の結果や病院の領収証等をMYフォンで撮影することで、紙でのご提出が不要となり、スピーディーに安心してお手続きいただけます



お支払いが便利に！カード用「決済端末」を導入

キャッシュレス化

決済端末を用いた「デビットカード払い」、「クレジットカード払い」の開始により、キャッシュレスとなるお手続きの範囲が拡大し、より安心・便利になりました

ペーパーレス化

生命保険料口座振替のお申込みにおいて、金融機関届出印の押印や書類の記入・ご提出が不要となります



みんなの健活プロジェクト

テレビCM出演中の広瀬アリスさん(MY健活レポートご案内の様子)

健康増進の取り組み方は「人それぞれ」、取り組みは「一人
だから私たちは、さまざまな取り組みでみなさまの健活

では難しい」、取り組みを「続けることは難しい」。
を応援します。

「MY健活レポート」※1 2019年11月よりスタート

健康を「知る」

100万人の医療ビッグデータを
活用し、入院する可能性等を予測

MY健活レポート(体験版)
一部メニューを体験できます



お客さまの健康診断結果データをもとに、約100万人の医療ビッグデータを活用し、将来の入院する可能性や、総合的な健康状態を年齢で表す「健康年齢※2」等を統計的に算出します。※3
また、健康診断結果の数値を変動させて、生活習慣病になる可能性やキャッシュバックランク※4の試算ができます。



※掲載画面はイメージです。今後デザイン等が変更となる可能性があります

※1 「ベストスタイル」に「健康サポート・キャッシュバック特約」を付加し健康診断結果をご提出いただいたお客さまにご提供するサービスです
※2 「健康年齢」は株式会社JMDCの登録商標です
※3 お客さまの個別の健康状態に対して、医師の医学的診断に基づく疾病の診断をするものではありません
※4 ご契約者専用Webサイト「MYほけんページ」などで閲覧することが可能です

セルフ健康チェック for みんなの健活

“けんしん” (健診・検診) を促進するため、ケアプロ株式会社と提携し、支社等を簡易な血液検査等を行なう場所(機会)として提供するとともに、医療機関等での受診勧奨に取り組んでいます。年間約200回開催する予定で、9月末までに96回開催しました。



セルフ健康チェックの様子

全国各地で健康増進イベントを開催

全国各地でみなさまの健康をサポートする健康増進イベントを開催しています。誰でも気軽にご参加いただけますので、詳細は「みんなの健活プロジェクト」公式サイトをご確認ください。

「みんなの健活プロジェクト」
公式サイト
各イベントの日程等
を確認できます

健康を「つくる」

Jリーグウォーキング を全国で順次開催

明治安田生命Jリーグウォーキング in OSAKAの様子



ゴルフトーナメント を初開催

明治安田生命ゴルフトーナメント東京大会の様子



フットサルフェスタ に約6,700人参加

フットサルフェスタ
北信越大会での試合の様子



「みんなの健活ヨガ」 スタート

みんなの健活ヨガの様子
(品川支社)



健康増進の取り組みを 応援する新商品を発売

(2019年4月～)

万一を支える、健康を応援する

ベストスタイル 健康キャッシュバック

[5年ごと配当付組立総合保障保険]

※1

健康を「続ける」

本商品では、健康増進の取り組みを応援するため、健康診断の結果をご提出いただいたお客さまへ、健康状態に応じて3つのキャッシュバックランクを判定し、毎年最大で保険料1ヵ月分相当をキャッシュバックします。※2 さらに、2019年4月の保険料率改定により、従前の「ベストスタイル」よりも、より少ない保険料のご負担でご加入いただけます。※3

※1 「ベストスタイル 健康キャッシュバック」は「ベストスタイル」に「健康サポート・キャッシュバック特約」を付加した場合の販売名称です
※2 毎年ご提出いただく当社の定める基準を満たす被保険者の健康診断結果を項目ごとにポイント化し、その合計ポイントに応じて3つのキャッシュバックランクを判定します。キャッシュバックランクおよび基準支払金額に応じて「健康サポート・キャッシュバック」を翌保険年度の年単位の契約応当日にお支払い(自動積立)します
※3 保険料はご契約年齢・性別や設計内容によって引き下げとならない場合があります



Jリーグ・地域社会貢献

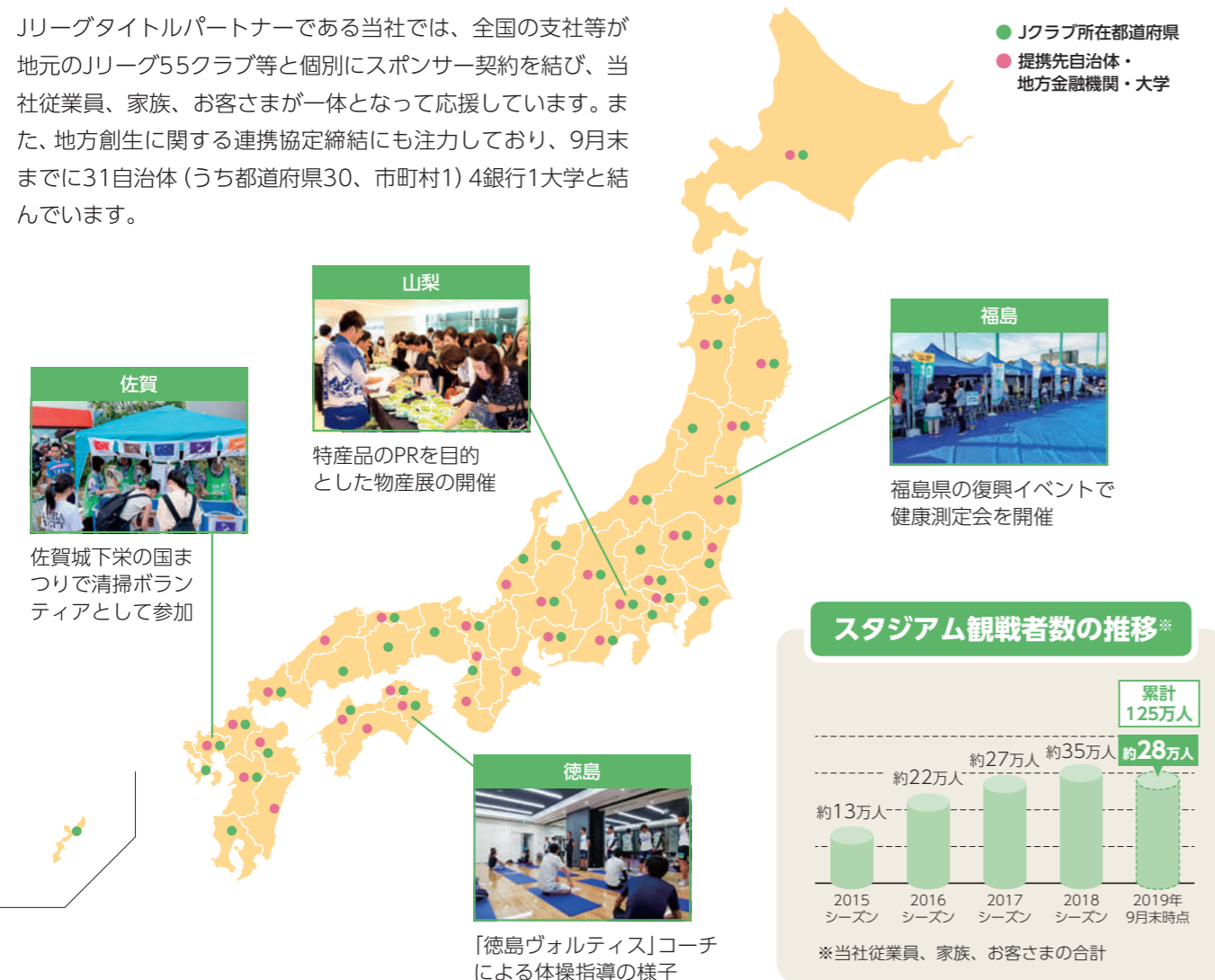
「明治安田生命Jリーグ」をはじめ、さまざまな地域社会の活性化に貢献していきます。

©J.LEAGUE

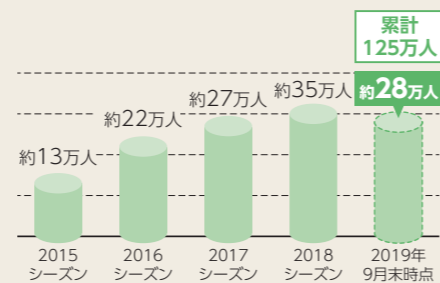
Jリーグ・地方自治体等と連携し、地域社会に貢献

Jリーグタイトルパートナーである当社では、全国の支社等が地元のJリーグ55クラブ等と個別にスポンサー契約を結び、当社従業員、家族、お客さまが一体となって応援しています。また、地方創生に関する連携協定締結にも注力しており、9月末までに31自治体（うち都道府県30、市町村1）4銀行1大学と結んでいます。

- Jクラブ所在都道府県
- 提携先自治体・地方金融機関・大学



スタジアム観戦者数の推移※



※当社従業員、家族、お客さまの合計

小学生向けサッカー教室等を全国で開催

地元のJクラブ等のみなさまの全面協力を得て、2019シーズンは、小学生を対象にしたサッカー教室を9月末までに全国で68回開催し、約3,700人のお子さまや保護者の方々に参加いただきました。あわせて、地元Jクラブやパートナー企業のご協力のもと、Jリーグ選手OBの講演会等のイベントも開催しています。



小学生向けサッカー教室の様子
(神奈川マーケット開発部)

若手アスリートを応援

プロゴルファーの勝みなみ選手との所属契約など、スポーツを通じた地域社会の活性化や健康増進の支援に取り組んでいます。また、2015年7月より「次世代トップアスリート 応援プロジェクト」を創設し、世界を舞台に活躍することが期待される若手アスリートを支援しています。

【支援選手一覧(敬称略)】

東 莉央(フェンシング)	堤 麗斗(ボクシング)
入江 聖奈(ボクシング)	成田 琉夏(フェンシング)
木造 勇人(卓球)	野口 莉央(テニス)
齋藤 麗王(ボクシング)	村上 夏美(陸上)
堤 駿斗(ボクシング)	綿貫 敬介(テニス)



プロゴルファーの勝みなみ選手

地域に根ざした取組みを実施

あしながチャリティー&ウォーク
従業員が参加するウォーキングとチャリティー募金を通じ、親をなくした子どもたちに進学と心のケア支援を行なっています。



あしながチャリティー&ウォークの様子(岩手)

「黄色いワッペン」贈呈事業
新入学児童を対象に、交通安全キャンペーンの一環として「黄色いワッペン」の贈呈事業に参画しています。



黄色いワッペン贈呈式の様子

「地域を見守る」活動
全国のMYライフプランアドバイザーが、日々のお客さま訪問活動を通じて地域を見守っています。



従業員が常時携帯するカード

DATA FILE 明治安田生命単体の数値

貸借対照表(要旨)				
(単位:億円)				
科目	2018年度末	2019年度 上半期末		
資産の部	現金及び預貯金	11,477	10,172	
	コールローン	900	900	
	買入金銭債権	2,123	2,087	
	金銭の信託	166	173	
	有価証券	321,821	324,773	
	うち公社債	170,921	170,422	
	うち株式	42,433	40,478	
	うち外国証券	97,021	101,825	
	貸付金	42,238	41,629	
	有形固定資産	8,703	8,663	
	無形固定資産	884	875	
	その他資産	3,477	3,726	
	前払年金費用	869	910	
	貸倒引当金	△53	△60	
資産の部合計	392,608	393,851		
負債の部	保険契約準備金	326,221	328,501	
	支払備金	1,304	1,259	
	責任準備金	322,487	324,147	
	社員配当準備金	2,429	3,094	
	社債	5,607	6,407	
	その他負債	9,117	8,809	
	偶発損失引当金	0	0	
	価格変動準備金	8,159	8,285	
	繰延税金負債	2,392	1,996	
	再評価に係る繰延税金負債	793	781	
	負債の部合計	352,293	354,782	
	純資産の部	基金	2,600	2,500
		基金償却積立金	6,700	7,300
		再評価積立金	4	4
剰余金		4,916	3,810	
損失填補準備金		114	119	
その他剰余金		4,802	3,690	
うち基金償却準備金		980	900	
うち中間未処分剰余金		(注) 2,233	1,201	
基金等合計		14,221	13,615	
その他有価証券評価差額金		24,502	23,805	
繰延ヘッジ損益		412	459	
土地再評価差額金		1,178	1,188	
評価・換算差額等合計		26,093	25,454	
純資産の部合計		40,315	39,069	
負債及び純資産の部合計	392,608	393,851		

(注) 当期未処分剰余金を記載しています。

有価証券の含み損益(一般勘定)

区分	2018年度末		
	帳簿価額	時価	含み損益(注1)
公社債	164,507	193,410	28,903
株式	16,742	40,093	23,351
外国証券	79,275	85,280	6,004
その他共計(注2)	270,907	329,814	58,907

(注1) 売買目的有価証券以外の有価証券のうち、時価のある有価証券等の含み損益相当額を記載しています。
(注2) 「その他共計」には買入金銭債権等を含んでいます。

損益計算書(要旨)			
(単位:億円)			
科目	2018年度 上半期	2019年度 上半期	
①経常収益	19,403	18,207	
保険料等収入	14,057	13,008	
うち保険料	14,053	13,000	
資産運用収益	4,911	4,814	
うち利息及び配当金等収入	4,062	4,250	
うち金銭の信託運用益	1	2	
うち有価証券売却益	122	122	
うち特別勘定資産運用益	202	87	
その他経常収益	434	384	
②経常費用	17,381	16,757	
保険金等支払金	10,907	11,160	
うち保険金	3,197	3,193	
うち年金	2,965	2,910	
うち給付金	2,035	2,133	
責任準備金等繰入額	2,905	1,660	
うち責任準備金繰入額	2,904	1,659	
資産運用費用	1,086	1,512	
うち支払利息	56	68	
うち有価証券売却損	183	10	
うち有価証券評価損	15	258	
うち金融派生商品費用	651	696	
事業費	1,783	1,774	
その他経常費用	697	650	
③経常利益(=①-②)	2,022	1,449	
④特別損失	826	145	
うち固定資産等処分損	6	6	
うち減損損失	9	11	
うち価格変動準備金繰入額	808	125	
⑤税引前中間純剰余(=③-④)	1,196	1,303	
⑥法人税等合計	99	105	
法人税及び住民税	257	251	
法人税等調整額	△157	△145	
⑦中間純剰余(=⑤-⑥)	1,096	1,197	

区分	2019年度上半期末		
	帳簿価額	時価	含み損益(注1)
公社債	163,650	194,714	31,063
株式	16,514	38,519	22,005
外国証券	84,846	91,227	6,381
その他共計(注2)	275,936	336,168	60,231

基礎利益		
P.4に掲載		
(単位:億円)		
項目	2018年度 上半期	2019年度 上半期
基礎利益 A(①-②)	2,969	2,854
①基礎収益	19,250	18,449
保険料等収入	14,057	13,008
資産運用収益(注)	4,602	4,689
その他経常収益(注)	434	384
その他基礎収益	156	367
②基礎費用	16,281	15,594
保険金等支払金	10,907	11,160
責任準備金等繰入額(注)	2,652	1,397
資産運用費用(注)	236	337
事業費	1,783	1,774
その他経常費用	697	650
その他基礎費用	3	274
キャピタル損益 B	△689	△1,130
臨時損益 C	△257	△274
経常利益 A+B+C	2,022	1,449

(注) 損益計算書上の資産運用収益・費用、その他経常収益および責任準備金等繰入額のうち、キャピタル損益および臨時損益に相当する金額を除いています。

リスク管理債権額

区分	2018年度末	2019年度 上半期末
破綻先債権額	—	—
延滞債権額	39	49
3ヵ月以上延滞債権額	—	—
貸付条件緩和債権額	150	136
合計	189	185
(貸付残高に対する比率)	0.45%	0.45%

基金等変動計算書(要旨)

	基金	基金償却 積立金	うち 基金償却 準備金	うち 中間未処分 剰余金	剰余金合計	基金等合計	うち その他 有価証券 評価差額金		純資産合計
							評価・換算 差額等合計		
2019年度期首残高	2,600	6,700	980	2,233	4,916	14,221	24,502	26,093	40,315
2019年度上半期中の変動額									
うち基金の募集	500	—	—	—	—	500	—	—	500
うち社員配当準備金の積立	—	—	—	△1,696	△1,696	△1,696	—	—	△1,696
うち基金償却積立金の積立	—	600	—	—	600	600	—	—	600
うち基金利息の支払	—	—	—	△9	△9	△9	—	—	△9
うち中間純剰余	—	—	—	1,197	1,197	1,197	—	—	1,197
うち基金の償却	△600	—	—	—	—	△600	—	—	△600
うち基金償却準備金の積立	—	—	520	△520	—	—	—	—	—
うち基金償却準備金の取崩	—	—	△600	—	△600	△600	—	—	△600
うち基金等以外の変動額	—	—	—	—	—	—	△696	△639	△639
2019年度上半期中の変動額合計	△100	600	△80	△1,032	△1,106	△606	△696	△639	△1,245
2019年度上半期末残高	2,500	7,300	900	1,201	3,810	13,615	23,805	25,454	39,069

明治安田生命プロフィール(2019年9月末)

正式名称	明治安田生命保険相互会社 Meiji Yasuda Life Insurance Company	保有契約年換算保険料	2兆2,457億円(個人保険・個人年金保険)
創業	明治14年(1881年)7月9日	新契約年換算保険料	502億円(個人保険・個人年金保険 2019年4月~2019年9月)
総資産	39兆3,851億円	社員(契約者)数	6,475,327人
基金総額	9,800億円(基金償却積立金を含む)	従業員数	43,550人(うち営業職員「MYライフプランアドバイザー」32,853人)
保有契約件数	12,331千件(個人保険・個人年金保険)	営業拠点数	支社・マーケット開発部/96 営業部・営業所等/1,021 法人部/21(2019年10月1日)

「お客さま懇談会」のご案内

当社では、ご契約者のみなさまからご意見・ご要望等をいただく機会として2020年1～2月にかけて「お客さま懇談会」を全国の支社等で開催します。ご出席を希望される方は、最寄りの支社、営業部・営業所または担当者までお知らせください。ご出席が難しい場合には、当社公式ホームページからご意見等をお寄せいただけます。

【ホームページからのご意見受付期間】2019年12月16日(月)～2020年3月6日(金)

お客さま懇談会の開催概要や
ご意見窓口はこちら

【QRコード】



明治安田生命は「人に一番やさしい生命保険会社」をめざしています

明治安田生命 2019 マイハピネスフォトコンテスト

しあわせな瞬間

テーマ 【応募締切】2020年1月31日
「あなたがいるしあわせ。」

家族のふれあい、夫婦や恋人の愛情、人生の節目のよろこび、仲間や友人との感動・思い出など、「しあわせな瞬間(とき)」を撮った写真が対象です。2人以上、もしくは動物と一緒に撮影した写真をご応募ください。

あなただけのCM風動画をつくろう!



「明治安田生命のあのCMをあなたの写真で」大切な人との思い出の写真をアップすると、小田和正さんの歌声にあわせてオリジナルのCM風動画をつくれます。

【QRコード】



マイハピネス フォトコンテスト 検索



3分でやさしい気持ちに
なってみませんか?

このアニメーションは当社従業員の体験談をもとに制作した心温まるエピソードです。ぜひご覧ください。

【QRコード】



対面以外のアフターフォロー

ご契約者専用WEBサイト MYほけんページ

休日や深夜でも、ご契約内容(保障内容や解約返戻金等)の確認や、住所変更、第二連絡先(MY安心ファミリー登録制度)の登録・変更等のお手続きがWEB内で可能です。さらに、健康・医療に関するサービスをご活用いただけます。生命保険に関するお役立ち情報をご用意しています。

パソコンやスマートフォンからもご登録できます。

*一部機種を除く

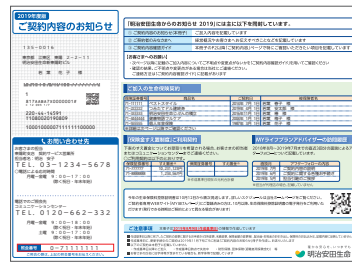
MYほけんページ



【QRコード】



郵送でのご案内



現在のご契約内容や各種情報をお知らせしている「明治安田生命からのお知らせ」冊子等を毎年お送りします。

生命保険契約のお手続きに関するご照会

コミュニケーションセンター「お電話によるご相談窓口」

0120-662-332

月曜～金曜：9:00～18:00

土曜：9:00～17:00

(いずれも祝日・年末年始を除く)

明治安田生命カードの紛失・盗難のご連絡は24時間受け付けております。

お問い合わせは契約者ご本人さま(給付金・保険金のご請求は被保険者さま、または受取人さま)からお願いたします。

コミュニケーションセンターは、「2019年度カスタマーサポート表彰制度」において生命保険会社としては初となる「最優秀賞」を受賞しました。



- 生命保険募集人は、お客さまと明治安田生命の保険契約締結の媒介を行なう者で、保険契約締結の代理権はありません。したがって、保険契約は、お客さまからの保険契約のお申し込みに対して明治安田生命が承諾したときに有効に成立します。
- この資料は、「保険設計書(契約概要)」の補助資料であり、支払事由や制限事項のすべてを記載したものではありません。保険商品をご検討いただく際には、「保険設計書(契約概要)」を必ずご確認ください。なお、ご契約の際には、「保険設計書(契約概要)」、「特に重要なお知らせ(注意喚起情報)」、「ご契約のしおり 定款・約款」を必ずご確認ください。
- 掲載のサービス・イベント等は一例です。サービスは、明治安田生命にご契約のお客さまのみご利用いただけます(一部例外や条件があります)。また、各サービス・イベントの画像の一部はイメージです。

明治安田生命保険相互会社

〒100-0005

東京都千代田区丸の内2-1-1

TEL 03-3283-8111(代表)

https://www.meijiyasuda.co.jp/



*当資料は、当社の経営活動や健全性・業績などを解説したディスクローチャー小冊子です。

UD FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。



広報部2019.11